

ハマナスに虫こぶを作るをつくるハマナスクロバラタマバチ (膜翅目: タマバチ科) の斜里町における初記録

白井平¹・坂本洋典²

1. 099-4113 北海道斜里郡斜里町本町 49-2, 斜里町立知床博物館 (現所属: 098-5823 北海道枝幸郡枝幸町三笠町 1614-1 オホーツクミュージアムえさし) 2. 194-8610 町田市玉川学園 6-1-1 玉川大学脳科学研究所

First Record of *Liebelia fukudae* (Hymenoptera: Cynipidae) Created Galls on *Rosa rugosa* in Shari, Eastern Hokkaido

USUI Taira¹ & SAKAMOTO Hironori²

1. Okhotsk Museum Esashi, 1614-1 Mikasa-chō, Esashi, Hokkaido 098-5823, Japan. ✉ usu.taira@gmail.com 2. Tamagawa University, 6-1-1 Tamagawa-gakuen, Machida, Tokyo 194-0001, Japan

ハマナス *Rosa rugosa* はバラ科の落葉低木であり、北海道では1978年に「北海道の花」に指定され、緑化植物として人気が高い(上条ら1983)。同時に、バラ科植物の例に漏れずハマナスは多くの種類の植食性昆虫に利用されている。

道東においてハマナスを利用する昆虫は、上条ら(1983)が北海道斜里郡小清水町にある小清水原生花園で網羅的に調べ、半翅目4種、鱗翅目13種、双翅目2種、鞘翅目3種、膜翅目4種の計26種を記載している。その中で稀少な種として、北海道および東北地方に局地的に分布するタマバチの一種ハマナスクロバラタマバチ *Liebelia fukudae* (Shinji, 1941) Vyrzhikovskaja, 1963が、ハマナスの芽に虫こぶ(ハマナスメトゲコブフシ)を作る昆虫として記録されている。ただし、湯川・榊田(1996)による『日本原色虫えい図鑑』では上条ら(1983)の記録は挙げられず、ハマナスメトゲコブフシの北海道の記録例としては札幌市の北海道大学構内での採集例が挙げられているのみとなっており、本種の分布に関する知見はその後報告されていない。

今回、筆者らは斜里郡斜里町のハマナスより本種の虫こぶを確認し、斜里郡において連続的にこの

種が分布することが明らかになったので報告する。

筆者の一人である白井は2012年5月10日に斜里町の知床博物館周辺でハマナスにできた虫こぶを採集し(図1)、ガラス瓶の中で湿度を維持した状態で切り枝として管理した。その結果、5月12日–6月10日の間に、1つの虫こぶから数十個体におよぶ本種の羽化が続いた。これらの羽化した成虫の一部を九州大学の阿部芳久教授に同定していただいた結果、ハマナスクロバラタマバチであることが確認された。なお、これらの標本の一部は知床博物館に保管されている。

本種は目立つゴールを形成する種であるにも関わらず、分布の記録はほとんど得られていない。今回、小清水町につづいて斜里町でも確認されたことで、斜里郡に連続的に分布することが判明した。本種の分布域を明らかにするため、今後は道東域を広く調査することが望まれる。

Liebelia fukudae (Shinji, 1941) Vyrzhikovskaja, 1963 ハマナスクロバラタマバチ(図2)

標本: 5♂35♀. 12 V–10 VI 2012. 北海道網走地方, 斜里郡斜里町本町, 斜里町立知床博物館野外観察園. 白井平採集.

図1. ハマナスの新芽についたハマナスメトゲコブフシ. 2012年5月10日, 白井平撮影.



図2. ハマナスクロバラタマバチ *Liebelia fukudae* のメス成虫. 坂本洋典撮影.



謝辞

同定の労を取っていただいた九州大学の阿部芳久教授, タマバチ全般についてご教授頂いた北海道農業試験場の小西和彦氏に深くお礼申し上げます.

引用文献

上条一昭・駒井古実・鈴木重孝. 1983. ハマナスを加害する害虫. 光珠内季報 55: 17-21,
湯川淳一・榊田長(編・著). 1996. 日本原色虫えい図鑑. 826 pp. 全国農村教育協会, 東京.